

マニユライフの投資型年金

ManuSolution

マニユソリューション

クォーターリー パフォーマンス レポート 四半期運用報告 2018年7月～9月

経済概況 (2018年7月～9月)

【日本経済】2018年8月の鉱工業生産指数は前月比+0.7%、在庫は-0.4%となりました。製造工業生産予測調査によると、生産は2018年9月に前月比+2.7%の後、2018年10月は同+1.7%が見込まれています。

2018年8月の全国消費者物価指数（除く生鮮食品）は前年同月比+0.9%となりました。食料およびエネルギーを除く指数は、前年同月比+0.4%となりました。2018年9月の東京都区部の消費者物価指数（除く生鮮食品）は、前年同月比+1.0%となりました。

日本銀行は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しました。

【米国・欧州経済】米国の2018年4-6月期実質GDP成長率は前期比年率+4.2%となりました。FRB（米連邦準備制度理事会）は政策金利レンジを1.75～2.00%から2.00～2.25%に引き上げました。

ユーロ圏の2018年4-6月期実質GDP成長率は前年同期比で+2.1%となりました。ECB（欧州中央銀行）はマイナス金利政策および量的緩和政策を維持しました。

特別勘定のユニット価格騰落率一覧 (2018年9月30日現在)

	特別勘定名	ユニット価格 18/9/30現在	騰落率					設定日	
			直近1ヶ月	直近3ヶ月	直近6ヶ月	1年	3年		設定来
バランス型/ ライフスタイル・ ポートフォリオ	積極成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	136.7456	0.89%	2.73%	3.62%	4.51%	18.40%	36.75%	2002/2/5
	安定成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	123.9652	0.31%	1.22%	1.42%	1.74%	9.30%	23.97%	2002/2/27
	堅実成長型 ライフスタイル・ ポートフォリオ	117.2626	-0.01%	-0.21%	-0.50%	-0.54%	2.10%	17.26%	2002/2/12
	ジャパン・バランス・アクティブ・ ファンド	149.1968	3.29%	2.43%	2.68%	3.51%	14.03%	49.20%	2003/1/24
国内株式型	日本成長株ファンド	234.3149	3.84%	2.55%	0.57%	6.78%	36.37%	134.31%	2003/1/28
世界株式型	グローバル・ファンド	285.3319	1.18%	5.54%	10.21%	10.07%	31.33%	185.33%	2003/1/23
世界債券型	ユーロ・ボンド・ファンド	124.2682	1.07%	1.44%	-1.77%	-3.24%	-7.77%	24.27%	2003/1/23
	グローバル・ボンド・ファンド	120.1966	1.13%	1.35%	1.18%	-3.36%	-7.47%	20.20%	2003/1/21
	USショートターム・ファンド	90.9345	2.18%	2.61%	6.52%	0.09%	-9.13%	-9.07%	2003/1/28
債券型	元本確保型特別勘定	(該当ページにおいて、積立金額計算用利率の推移をご参照ください)							

*上表の騰落率は、それぞれの月数をさかのぼった該当月の月末日付ユニット価格に対して、当期末のユニット価格がどれくらい変動したかを計算したものです。

*ユニット価格とは、各特別勘定1ユニット（1口）あたりの価格のことをいい、単位は円です。設定日におけるユニット価格は、いずれの特別勘定も100円です。

*投資信託を主たる投資対象とする特別勘定のユニット価格と、投資対象の投資信託の基準価額とは必ずしも一致するものではありません。

*ユニット価格は小数点第5位以下を切捨て、騰落率は小数点第3位以下を四捨五入して表示しています。

当資料は、当社の変額個人年金保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。

当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おください。

上記の表は過去の実績を示したものであり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらすものではありません。

投資信託を主たる投資対象とする特別勘定の運用レポートには、各運用会社よりマニユライフ生命に提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニユライフ生命は一切の責任を負いません。

「マニユソリューション」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約の概要」「注意喚起情報」「重要事項のお知らせ/ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」等にてご確認ください。

6. 安定成長型バランスファンド

ジャパン・バランス・アクティブ・ファンドの状況 (2018年9月末現在)



特別勘定の平均資産構成比

日本株式 58.2% 日本債券 38.2% 現預金 3.6%

◆組入上位5業種(マザーファンド)

業種名	組入比率
1 情報・通信業	11.01%
2 輸送用機器	10.88%
3 銀行業	9.57%
4 サービス業	8.35%
5 化学	6.65%

*比率は現物株式評価額に対する割合です。

◎種別配分

種別	組入比率
国債	81.81%
地方債	6.61%
政府保証債	2.26%
金融債	0.64%
事業債	5.20%
その他	2.07%

*比率は純資産総額に対する割合です。

〈主たる投資対象となる投資信託の運用レポート〉

運用会社

マニユライフ・アセット・マネジメント株式会社

投資信託名

マニユライフ日本株ファンド (適格機関投資家専用)

マニユライフ・日本債券インデックスファンド (適格機関投資家専用)

コメント (2018年7月~9月)

【市場動向】2018年7-9月の日本株市場インデックス (TOPIX (東証株価指数) / 配当込み) は+5.86%上昇しました。7月は+1.30%上昇しました。前半は、米中貿易摩擦問題が株価の重しとなりましたが、後半は国内主要企業の2018年4~6月期決算への期待が相場を下支えし、株価は上昇基調を辿りました。8月は-1.00%下落しましたが、月中旬まで、米中貿易摩擦問題への懸念や新興国通貨危機への警戒感から、株価は下落基調で推移しましたが、月下旬、FRB (米連邦準備制度理事会) の9月の政策金利引き上げ観測が強まり、為替がドル高円安方向への推移に転じると、株価は上昇基調となり、前月末よりの下落幅を縮小しました。9月は+5.55%上昇しました。貿易摩擦問題や自然災害が景気に与える影響への警戒感から下落してはまりましたが、米経済指標の堅調を受けて株価は上昇に転じ、その後も、円安基調による企業業績改善への期待や自民党総裁選挙における安倍首相の3選を受けて、一段の上昇となりました。騰落率上位は、石油・石炭製品、鉱業、医薬品、パルプ・紙、情報・通信業でした。下位は、建設業、食料品、金属製品、不動産業、繊維製品でした。10年国債利回りは、7月後半にかけて概ね横ばいの展開となりましたが、その後は黒田日銀総裁が長期金利の変動幅拡大を容認する考えを示したことなどから上昇する展開となりました。日本債券市場インデックス (NOMURA-BPI 総合) の収益率は-0.962%となりました。

【運用概況】7月は、グループ会社への運用委託を開始したことを機に、ポートフォリオの見直しを行いました。8-9月は、日本株市場インデックス (TOPIX (東証株価指数) / 配当込み) を上回る投資成果を目指して、積極的にキャッシュフローを生み出す優良企業に、割安な株価で投資を行いました。一方、債券については引き続き国債と内外の高格付企業の発行する社債を中心に投資を行いました。

◆組入上位5銘柄(マザーファンド)

(組入銘柄数: 49 銘柄)

銘柄名	業種名	組入比率
1 三井不動産	不動産業	4.50%
2 KDDI	情報・通信業	4.28%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.06%
4 HOYA	精密機器	3.84%
5 第一生命ホールディングス	保険業	3.26%

*比率は純資産総額に対する割合です。

◎組入上位5銘柄 (組入銘柄数: 116 銘柄)

銘柄名	種別	クーポン	償還日	組入比率
1 第123回利付国債(5年)	国債	0.100%	2020/3/20	5.11%
2 第309回利付国債(10年)	国債	1.100%	2020/6/20	3.13%
3 第148回利付国債(20年)	国債	1.500%	2034/3/20	2.58%
4 第332回利付国債(10年)	国債	0.600%	2023/12/20	1.98%
5 第326回利付国債(10年)	国債	0.700%	2022/12/20	1.97%

*比率は純資産総額に対する割合です。

◎利回り・デュレーション・平均残存期間

最終利回り	0.21%
直接利回り	1.01%
修正デュレーション	9.00
平均残存年数	9.78年

*数値は、債券現物部分について計算しています。

7. 堅実成長型外国債券 (A)

USショートターム・ファンドの状況 (2018年9月末現在)



特別勘定の平均資産構成比

投資信託 98.0% 現預金 2.0%

運用会社

野村アセットマネジメント株式会社

投資信託名

ノムラ米国短期インカムオープン VA (適格機関投資家専用)

純資産総額

17.8億円 (2018年9月28日現在)

ポートフォリオの内訳	
資産	純資産比
外国債券	89.2%
現金その他	10.8%
合計	100.0%

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

格付別資産配分	
資産	純資産比
外国債券	89.2%
A-1格	89.2%
その他格付	-
無格付	-
現金その他	10.8%
合計	100.0%

*格付は、格付機関の格付を採用しています。

騰落率	
期間	ファンド
1年	1.8%
2年	6.6%
3年	-1.4%
5年	3.2%

設定来 12.8%

設定来 = 2001年9月27日 以降

平均残存日数	
ポートフォリオの平均残存日数	83日

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。
2年~5年の騰落率は年率平均(複利ベース)

当資料は、当社の変額個人年金保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますので、あらかじめご承知おきください。

上記の表は過去の実績を示したものであり、現在または将来の運用成績・内容を保証またはあらわすものではありません。投資信託を主たる投資対象とする特別勘定の運用レポートには、各運用会社よりマニユライフ生命に提供される情報が掲載されますが、その部分の内容に関してはマニユライフ生命は一切の責任を負いません。

「マニユライフ生命」の商品内容の詳細については、商品パンフレット、「ご契約の概要」「注意喚起情報」「重要事項のお知らせ/ご契約のしおり/約款」「特別勘定のしおり」等にてご確認ください。